

演劇ラボ「私の演劇／

私たちの演劇」

参加者募集／講師＝多田淳之介

(演出家／東京デスロック主宰)

2015年1月23日(金)・24日(土)／福井市文化会館

「演劇ラボ」は、話したり、身体を動かしてみたりして、参加者のみなさんでつくる「演劇の実験室」です。講師（進行役）に演出家の多田淳之介さんを迎え、一緒に演劇のことを考えてみたいと思います。そしてこのラボの先には、多田さんとの舞台作品づくりも予定しています。ラボでの発見をヒントに、「私たちの演劇」をつくってみませんか。演劇経験は一切問いません。みなさまのご参加をお待ちしています。

多田淳之介 TADA Junnosuke

1976年、福井県福井市生まれ。演出家、東京デスロック主宰、埼玉県富士見市民文化会館キラリふじみ芸術監督。古典から現代劇、パフォーマンス作品まで幅広く手がける。俳優、観客、時間を含めたその場での現象にフォーカスし、近年は客席と舞台の区分をなくして、観客の当事者性を取り入れた作品を発表。地域、教育機関、海外でのアウトリーチ、共同製作など活動の幅は広い。2013年、日韓共同製作作品『가모메 칼메기』にて韓国で最も権威のある東亜演劇賞を外国人演出家として初受賞。

